



町長新年のあいさつ

あけましておめでとうございます。

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年3月11日の東日本大震災や福島原発事故では、今なお被災者の皆さんをはじめ、日本中で多くの方々が様々な形で復旧、復興に取り組んでおられます。

町内でも、22年23年と2年連続で大水害が発生し、3名の尊い命が失われ、町内の至る所に大きな爪痕を残しました。

現在、国の激甚災害の指定を受け、一日も早い復旧に向け工事を進めております。

また、昨年の秋には、ぎふ清流国体・清流大会が地元岐阜県で開催され、全国から多くの皆さんにお集まりいただきました。

八百津町から参加された選手の方もおられ、優勝をはじめ上位入賞されるなど、思い出深い大会となりました。

昨年1年、町では様々な行事やイベントを開催しましたが、皆様のご協力により、盛大かつ成功裏に終わることが出来、心から感謝申し上げます。

今年の抱負を四字熟語で表しますと「安居樂業（あんきょらくぎょう）」です。

世の中が平和で、町民の皆さまの生活が安定し、楽しく仕事に励めるように・・・

平和で、それぞれの絆を深めながら楽しい人生を送って頂きたい、そんな願いを込めた文字となります。

皆さまが安居樂業である為にも、町政も頑張っていかなければなりません。

新年度の課題としまして、具体的には次の事をあげさせていただきます。

- ・ 2年間に渡るゲリラ豪雨による災害を1日でも早く復旧することが第一だと考え、引き続き頑張っていきたいと思っております
 - ・ 数年（2～3年）かけ、上水道の施設を上飯田地内に建設し、安心安全な水を供給したいと考えています。
 - ・ 県の事業主体となっている伊岐津志のトンネル工事を、1日でも早く完成して頂き、南の玄関口として活用し八百津町の発展に繋がりたいと思っております。
 - ・ まちづくり協議会も2年目を迎え、町民皆さまの積極的な活動をもとに、さらに押し進めていきたいと思っております。
 - ・ 国で停止している新丸山ダム工事を、1日でも早く着工して頂くよう要望していきたく思います。
- また子育て支援、教育、福祉等の充実も、精一杯頑張っていこうと思っておりますので、町民の方々にも様々なご理解やご協力をよろしくお願い致します。

本年も皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。